

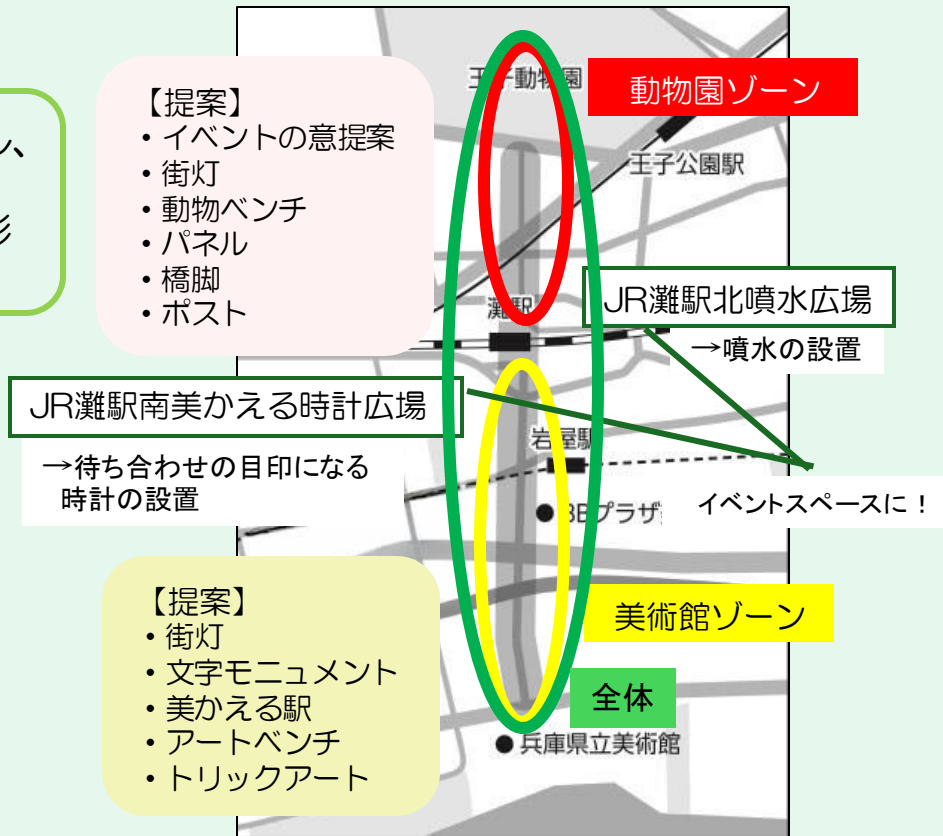
ミュージアムロードアイデアコンペ アートで”みち”がえる ～見違える道へ、未知の発見～

全体コンセプト

美かえるなどの既存のパブリックアートを最大限生かし、ミュージアムロードを「目的地になる道」へ。歩く中で発見と楽しさを感じられるようにアートと色彩で可視化し、賑わいと魅力向上を図る。

課題→アイデア

- ミュージアムロードの看板がわかりにくい → ①
- 案内板がなく、進んだ先に何かあるのかわからない → ①
- 植栽の整備が出来ていない → ④
- 薄暗い → ⑤ ⑩
- 休憩できる場所が少ない → ⑥ ⑫ ⑬
- 未活用の広い広場 → イベントの開催
- 統一感がない → 道全体のデザインで解消
- 人通りが少ない



ミュージアムロード全体に統一感を出し、道に迷わないようにするための4つのアイデア

①看板

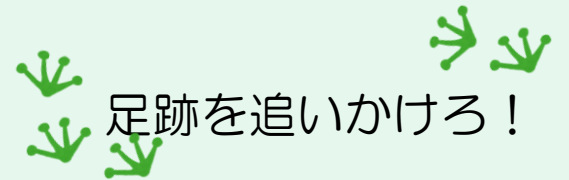
美かえるカラーを活用した案内看板を新たに設置。道全体の統一感を高めることで、訪れる人がミュージアムロードのエリアに入ったことを視覚的に理解できるように。



案内看板イメージ図

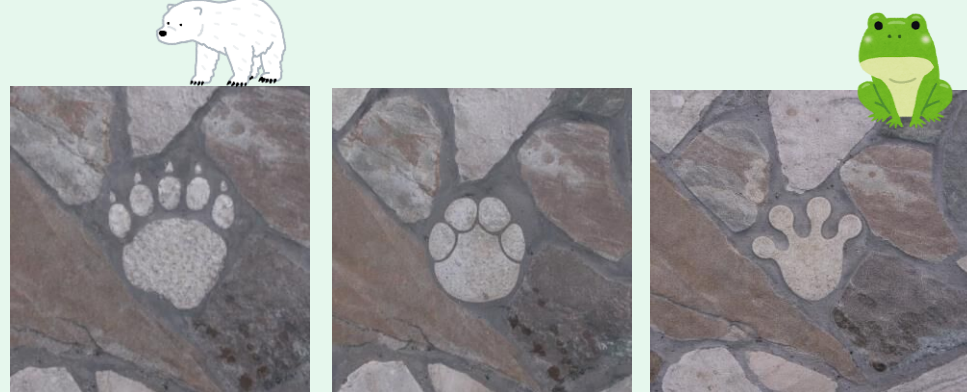
ようこそ
ミュージアムロードへ!

②歩道



足跡を追いかける!

歩道の素材はタイルで統一し、道全体に一体感を持たせる。動物園側には動物の足跡を、美術館側には“美かえる”の足跡をところどころに取り入れる。子どもが思わず追いかけてたくなるような遊び心あふれる道へ。足跡を模ったタイルにすることで雰囲気壊さないようにする。



シロクマの足跡

像の足跡

かえるの足跡

③マンホール

ミュージアムロードオリジナルのマンホールをデザインする。歩くだけで楽しめる仕掛けとして道の魅力を高める。



おともだち
みーっけ!

マンホールデザイン案
美術館の美かえる・りんごと動物園の象がコラボ

④花壇

花壇を取り入れ、歩きながらも緑を楽しめるようにする。色とりどりの花を配置することで、道全体がカラフルで華やかな雰囲気に。

花壇もアートに!



<https://photohito.com/images/spacer.gif>

⑤街灯(テナガザルVer.)

街灯にはテナガザルやコアラなど動物園に実在する動物をモチーフとした装飾を施し、歩行中も飽きない景観をつくとともに、動物園の認知向上を図る。



⑥動物ベンチ

動物型ベンチは不足している休憩機能を補う。動物園の存在を自然に知らせ、エリア全体の雰囲気づくりにつなげる。



ライオンのベンチ



カバのベンチ

⑦パネル

動物のスタンドパネルは、子どもが背比べを楽しめるサイズで、置き型パネルを設置する。また、記念撮影ができるフォトスポットとしての機能も持たせ、道を歩くだけで動物園へ向かうワクワク感を高める役割を担う。



<https://www.kobe-ojizoo.jp/>



ペンギンのスタンドパネル

ボランティア

ミュージアムロード活性化プロジェクトを実施するにあたり、イベント運営を行う人員が必要である。そのため、ボランティア「ZOOSEUMミュージアム」を立ち上げ、募集することでイベント運営を支える。

阪急王子公園駅

山手幹線



⑧橋脚

アーチを囲むように動物が出迎えてくれる。通行方向によって見え方が変わる複数の動物を配置。単なる通路ではなく、楽しめる演出空間にする。

ミュージアムロード活性化プロジェクト その1

- 春(4月): 美さくらまつり
- 夏(8月): ばしゃばしゃSUMMER
- 秋(11月): ひらひら落ち葉のアトリエみち
- 冬(12月): 冬のほかほかマーケット



城内通五丁目の並木道を一時的に歩行者道とし、季節によってイベントを開催。幅広い世代が楽しめ、人と人との関わりの創出と地域連携の促進を目指す。

城内通

北広場

JR灘駅

南広場

⑨ポスト

動物モチーフのポストを設置し、「動物園へ続く道」であることを視覚的に分かりやすく伝える。



参考: 鳥羽水族館

ミュージアムロード活性化プロジェクト その3

- ▶ミニ四駆リレー大会(3月)
- 場所: JR灘駅南美かえる時計広場

チーム対抗のイベントで、協力していく中で地域や人との交流が増える。優勝チームには動物園・美術館チケットのどちらか1つをプレゼントし、周辺施設との連携を強化。



ミュージアムロード活性化プロジェクト その2

- ▶レコードスプレーアート体験(5月、7月、10月、12月)
- 場所: JR灘駅北噴水広場

廃レコードを活用したアート制作で、創造性とサステナビリティを体験。気軽にアートに触れ、体験することが出来るため、興味・関心が生まれる。



JR灘駅北噴水広場

噴水を設置し、未活用な空間の有効活用を図る。噴水停止時も景観を損なわないよう地面から噴出するデザインとし、大人が見守れるシンプルなベンチを置いて安心して利用できる空間を目指す。



<https://share.google/xzqT05GHJSPWCxDJQ>

⑩街灯(Daliの記憶の固執Ver.)



美術史を想起させる街灯が、歩く度に発見と楽しさを与える。また移動の時間が発見のあるプロセスへと変化し、ミュージアムロードとしての魅力や回遊性を高める。

JR灘駅

⑪文字モニュメントの設置

設置場所：灘駅南側階段下・岩屋駅前広場

美かえるを乗せたり、黒の土台を文字の背景にも使用したりと視認性を高める。昼間は鮮やかな色彩で目を引き、夜間は暗く見えないためスポットライト・フットライトを組み合わせた照明設計を取り入れ安全性を高める。

現状

改善案



阪神岩屋駅

臨港線跡

⑫美かえる駅

美かえる駅は、気軽に立ち寄れる親しみやすい駅舎風ベンチに加え、美かえる駅長が運転席に座る電車型の遊具オブジェを設置。子どもが乗ったり、写真を撮ったりできる楽しいフォトスポットとして利用できる。また「駅」というコンセプトから、地域の待ち合わせ場所としても活躍。遊び場、休憩場所、コミュニティがつながるきっかけとして、誰もが使いやすい小さなランドマークになることを目指す。



美かえるトレイン



美かえるステーション

⑬アートベンチ

有名な画家や美術作品などに関連しているもの、その他多様な種類のベンチを設置することでアートの世界観に触れることができる上に知識をつけることも出来る。また、ゴッホの隣に座ったりなどと、それぞれフォトスポットとしても楽しむことが可能である。



兵庫県立美術館にある、安藤忠雄氏がデザインした「青りんご」をモチーフにしたベンチ



器の縁に沿って腰掛けるように座り、牛乳を注ぐ動作を表現したオブジェと一体になっているベンチ

2号線

阪神高速

「ヴィーナスの誕生」をイメージした貝殻型のベンチ



ゴッホの「ひまわり」をモチーフにしたベンチ

⑭トリックアート

地面を活かしてトリックアートをいくつか設置し、写真映えるフォトスポットに。一つ一つ楽しみながらアートに触れ、美術館まで足を進めることでワクワクする道に。



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000002075.000011710.html>

芸術の館

兵庫県立美術館

<https://slbing.net/gdrkYyJ6oci>

転がる青りんごをイメージしたトリックアート



お菓子をモチーフにしたトリックアート